

桐 生市の子どもたちが日立市へ 桐生市臨海子ども会

7月22日から24日にかけて、桐生市臨海子ども会が日立市を訪れました。臨海子ども会は、桐生市の子どもたちが国内親善都市の本市を訪れ、交流を深めたり、海水浴を楽しむもので、今年は4年ぶり66回目の来訪となりました。延べ283人が訪れた河原子海水浴場は天気にも恵まれ、子どもたちは思い思いに海を楽しんでいました。参加者は「コロナの影響もあり、久しぶりに海水浴ができて嬉しい」と話しました。



姉 妹都市・タウランガ市にホームステイ 市内中学生が市役所を訪問

7月25日、日立市中学生海外ホームステイ体験事業に参加する市内中学生6人が市役所を訪れました。本事業では8月3日から13日にかけてタウランガ市などを訪問し、現地の学校での授業体験やホームステイ、タウランガ市へ日立市長からの親書の伝達などを予定しています。参加する生徒たちは「英語が好きなので、英語でコミュニケーションを取ってみたい」、「不安もあるが、楽しんできたい」と抱負を語りました。



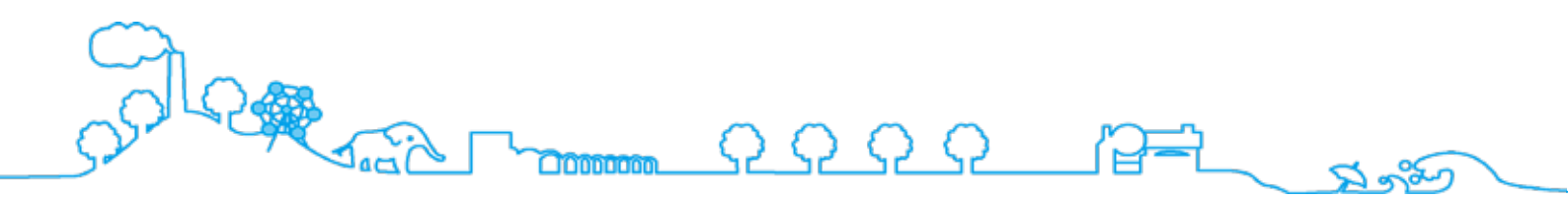
間 伐材を活用した木製ベンチ NPO 法人やみぞの森からかみね動物園へ

7月14日、NPO 法人やみぞの森からかみね動物園に木製ベンチ4基が寄贈されました。同団体は、森林の環境保全活動（里山整備）や木工教室などを行っているほか、環境保全活動の一環として間伐材を活用したベンチを県内の公共施設に贈る活動をしています。寄贈を受けた小川市長は「かみね動物園の園内に設置し、多くの来園者に活用してもらいたい」と話しました。



脱 炭素のまちづくりのためにできることを エコフェスひたち2023を開催

7月22日、日立シビックセンターなどでエコフェスひたち2023が行われました。環境イベントとしては県内最大級となるこのイベントでは、企業や学校などさまざまな団体が、実際に触ったり、作ったりして楽しく環境を学べるブースを出展し、多くの人でにぎわっていました。開催にあたり、小川市長は「これからも地域の方々と協力しながら、脱炭素社会にふさわしいまちづくりを進めていきます」と話しました。



地

地域の課題に対応 4者による地域包括連携協定を締結

7月27日、日立市、日立商工会議所、良品計画、いばらきコープ生活協同組合による地域包括連携協定の締結式がヒタチエで行われました。この協定は、それぞれが持つノウハウや強みを本市のさまざまな課題解決に活用することで、地域の活性化を図るとともに市民が安全安心に暮らせるまちづくりを目指すものです。締結式で小川市長は「日立駅前のにぎわいをこれからも継続させて、市民の方々のお役に立てるようにしたい」と話しました。



長

年の功績をたたえて 小野行政相談委員へ感謝状を贈呈

7月25日、行政相談委員を退任した小野勝久さんの功績をたたえ、総務大臣、全国行政相談委員連合協議会、日立市の三者から感謝状が贈られました。小野さんは、30年以上にわたって行政相談委員を務め、市内関係機関との行政相談懇談会や高校生を対象とする出前教室の開催などに精力的に取り組み、市民生活の向上や行政運営の改善に貢献しました。受賞を受け小野さんは「感無量です。これからも行政相談委員の活躍に期待しています」と今後の委員へ想いを述べました。

高

品質の建設工事を施工 建設業者21社を表彰

8月1日、市が発注した建設工事の中で、施工技术や品質管理、工期などの面から他の模範となる工事を行った建設業者を表彰する「日立市建設業者表彰式」が行われました。今回は令和4年度に完成した建設工事の中から16工事が選定され、施工した21社が受賞しました。小川市長は「さまざまな公共工事を行うみなさんの優れた技術力は本市の誇りです。これからの更なるご活躍を期待しています」と話しました。



夏

の風物詩 日立港まつり

7月30日、日立港区内で日立港まつり（主催：日立港まつり実行委員会）が開催されました。会場では、地元事業所によるイベントコーナーや山車の巡行などさまざまな催しが行われたほか、茨城海上保安部の巡視船「あかぎ」も一般公開され、約9万人が来場し、日立港まつりを楽しんでいました。フィナーレには約2,000発の花火が打ち上げられ、日立のまちを鮮やかに彩りました。